

八戸工業高等専門学校

同窓会会報

八戸高専同窓会 第40号

同窓会会報 40号の目次

八戸高専創立50周年記念式典挙行・・・・・・・・1	学内ニュース・・・・・・・・6
会長あいさつ・・・・・・・・2	学科からのメッセージ・・・・・・・・13
校長あいさつ・・・・・・・・3	平成26年度 事務局短信・・・・・・・・15
支部会報告・・・・・・・・4	平成25年度 事業報告・・・・・・・・15
私のお仕事紹介します・・・・・・・・5	第23回総会（名古屋）案内・・・・・・・・16

～八戸高専創立50周年記念式典挙行～



会長あいさつ



感謝！！

【同窓会会長 山本 修】

同窓会会員の皆様におかれましては、お元氣にご活躍のこととご推察いたします。

あの東日本大震災から、早いもので3年が過ぎました。八戸地区は復興が完了し、これからまた来ると思われる災害に備えて、避難設備等の建設に取りかかる準備を始めたところです。宮城県及び岩手県の沿岸部、福島第一原子力発電所近郊は、未だに復興への歩みが滞っており、早期に復興が完了することを望むものであります。

昨年は、八戸高専の創立50周年事業に対して、同窓会評議員及び各クラス幹事が中心となり、会員の皆様に協賛のご協力をお願いしましたところ、多数の同窓会会員の皆様から多額の協賛金をいただきました。本当にありがとうございました。協賛金は、目標額の1800万円（同窓会分）を達成できませんでしたが、1215万円（今年3月現在）となっております。同窓会会員の皆様の母校へ愛着が数値として表されたものと思っております。この協賛金を元にして、後輩諸君が勉学に励む教室を今年度中に完成させる予定で計画を進行中です。現在、多少の予算不足が生じており、協賛金締め切りを今年9月まで延長しておりますので、さらなるご協力の程をお願い申し上げます。

同窓会会長に就任して十数年になり、この間、卒業・修了証書授与式及び祝賀会に参列させていただきました。例年であれば、祝賀会において各

クラス代表が、先生及び両親に対して謝辞を述べて懇談で終わりとなるのですが、今年はこれに加えてサプライズがありました。

数名の男女が、花束を抱えてある先生を取り囲んだのです。吹奏楽部の部員でした。5年間、厳しく愛情を持ってご指導下さった上平好弘客員教授（Z17）への感謝を込めての花束贈呈だったのです。このサプライズを見た岡田校長は、皆を壇上に導き、祝賀会参列者全員の前で花束贈呈が行われました。上平好弘客員教授は、あまりの驚きからいつまでも目が潤んでいました。このサプライズは、吹奏楽部に止まらず、多数の部活においても行われました。

このような光景を今まで見たことがなかった。これは、個々の卒業生が考えたことなのか。それとも、卒業生全員で考えたことなのか。いずれにせよ、恩師に対して、感謝には変わりなく、次年度以降も見たい光景であることに違いない。昨今、人への感謝を忘れがちであるこの時代、良いものを見せて頂きました。

今年9月に、名古屋市において10年ぶりの同窓会総会を行います。

今回は、岡田校長と機械工学科を退官されました加藤先生にご出席のお願いをしましたところ、快く引き受けていただきました。恩師を囲んで、懐かしい話をしたいと存じますので、多数の同窓会がご出席下さいますようお願いいたします。

物質工学科教授として、ご活躍してきました大久保恵副校長が、今年4月から小山高専の校長として赴任されました。本校としては、重要な人材を失いましたが、先生の新天地でのご活躍を期待したいと存じます。

校長あいさつ



【特別会員・学校長 岡田 益男】

昨年度は、八戸工業高等専門学校創立五十周年の記念の年にあたり、11月4日には記念式典を盛大に開催することができました。また、創立五十周年記念事業に対して、卒業生・修了生の皆様から多額のご寄附を頂きました。ご協力頂いた同窓会の皆様の温かいご支援とご協力に対して、あらためて深甚の感謝を申し上げたいと存じます。今後の創立五十周年記念事業として、記念ホールの整備、八戸高専ブランド酒の開発、学生支援基金等の整備等を計画しております。この五十周年の記念の年は、就職・進学、課外活動、クラブ活動等において素晴らしい実績を挙げ、「五十年の礎から輝く未来への飛翔」にふさわしい年となりました。まず、就職・進学率に大きな変化がありました。本校の進学率は32～34%程度であり、全国高専進学率の40%強より低い状況でしたが、多くの学生が有名校に挑戦し、合格となり、平成25年度は43%となりました。また、専攻科からの進学率もこれまで全国平

均33%、本校は12～14%程度でしたが、大学院進学希望者全員が第一希望の有名校に合格し、本年度は44%と大幅に増加しました。これは、卒業・修了生が積極的に編入学試験や大学院入学試験に挑戦した結果だと存じます。また、高専ロボットコンテスト東北地区大会二十年振りの優勝など、課外活動、クラブ活動についても素晴らしい実績を挙げております。

平成26年度の本校の人事異動についてご報告申し上げます。鳴海寛教授、久慈憲夫教授、土屋幸男教授は平成25年3月31日をもって定年退職となりました。先生方の本校への永年のご尽力に敬意を表するとともに、深甚の感謝を申し上げます。

また、4月1日付で電気情報工学科に中ノ勇人教授、熊谷雅美教授、機械工学科に白田聡助教、総合科学科には川端良介助教が赴任されました。今後のご活躍を祈念致しております。

また、平成24年度の補正予算約4億7千万円で大型の研究設備も導入されました。図書室も改修工事が終了し、新年度に向けて施設・整備も充実して参りました。同窓会の皆様には、今後とも本校発展のために一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

支部会報告

関 東 支 部 よ り

【八戸高専同窓会関東支部 戸田 和孝】

同窓生諸兄にはご健勝のことと存じ上げます。関東支部ではこの1年間にサロン会を2回開催いたしましたので、その内容を以下にお知らせいたします。

第28回サロン会 (2013/12/21 開催)

東京・東日本橋の貸会議室にてM科8回生の奈良岡進一さんに「コンピュータ技術者から植木屋への転職」というテーマでお話していただきました。N社勤務中、クレーム対応で取引先である通販会社のエレベータ前で2泊したお話や新システム稼働時の現地24時間対応のお話には会社の就業時間規則がどうのこうのと言ってられない現場の厳しさが伝わってきました。また在職中にビオトープ管理士資格と東京都・緑のボランティア指導者認定を受け、自然と係わる仕事への想いが強くなったそうです。37年間勤めたN社退職後、東京都立職業能力開発センターにて庭園施工管理を習得後に個人にて、「庭の係」という屋号にて開業しておられます。個人企業における利益を得るための苦労話も話していただきました。

第29回サロン会 (2014/04/26 開催)

東京駅八重洲口の貸会議室にてC科2回生の佐々木久美さんに「独立技術士の世界」というテーマでお話していただきました。L株式会社在职中に佐々木さんが出演された柔軟仕上げ剤のテレビコマーシャルを見せていただいたときには、参加者一同、佐々木さんの凛々しい姿に魅せられました。当時のコマーシャルはテレビの生放送で行ったそうです。また39年間のL株式会社在职中に、実用英語検定一級及び独立技術士（化学部門）に合格された際の、早朝に頑張って勉強する「朝勉」の効率の良さも話していただきました。現在は佐々木さんが立ち上げられた、「佐々木技術事務所」にて忙しく仕事されていること及びこれからも、エキサイティングな業務と顧客を狙うビジネスを意欲を持って継続するとの熱弁には、定年後の再就職のあり方について参加者一同、佐々木さんに対して尊敬の念を抱きました。



第28回サロンの様子



第29回サロンの様子

関東支部では今年度もサロン会を2回開催予定です。

以下のメールアドレスにご連絡いただければ随時、関東支部の活動情况等をメールにてご連絡いたします。
tod.kaz@r2.dion.ne.jp

同窓生の皆様のご理解とご協力に感謝しております。

八戸高専同窓会関東支部 戸田和孝

私のお仕事紹介します

縁の下の力持ち

DMG 森精機セールスアンドサービス株式会社
名古屋テクニカルセンタ
北川宏司

私が勤めている DMG 森精機は、マシニングセンタや NC 旋盤等、機械部品を生産する工作機械を作っている会社で、八戸高専の実習工場にも 2 台機械を入れていただいています。一般には表に出ることはほとんどありませんが、車や飛行機などを作るには必ず必要になります。

そのため、ひとたび機械が故障してしまえば生産が止まり、製品ができなくなってしまう。私は、その故障した機械の修理を担当しています。車のように自社の工場に持ち帰ることはできませんので、お客様の工場にお伺いして、いち早く生産を再開できるように作業していきます。名古屋周辺は車関係の部品を作っているお客様も多く、特に早く修理して生産を再開していただく必要があります。

機械関係から電気関係まで幅広い知識も必要で、また時には夜遅くまで修理がかかってしまうこともあります。お客様から「助かった、ありがとう」と言って頂く事が一番のやりがいになっています。これからも日本のものづくりに貢献できるよう、がんばって行きます。



写真：担当した機械を操作する北川

無いものは創る。

株式会社群青企画
代表取締役
E33 三浦 匡夫

株式会社群青企画は、5 年前私が 10 年間務めた会社を辞めて立ち上げた会社です。「無いものは創る」の企業理念のもと、ソフトウェア開発を通じて新たなサービスの可能性や仕組みの研究開発を行なっております。

昨年度は、その成果として Web ブラウザを無償公開し、電気情報工学科様での卒業研究でも利用していただきました。研究では Web ブラウザ上でアイテムを移動することで、それに応じて車が動く仕組みを想定しており、実際に車が走行する姿を見た時には感動しました。

また、Web サイトやネットショップ等の制作も行っており、Web ブラウザの開発過程で得た成果を元に、お客様の「叶えたい」を実現し、高評価をいただいております。

これらは一例ですが、弊社は小さな組織のメリットを生かし「より身近で感動できるものをお客様と共有出来る」事が特徴です。簡単に言うと、「面白いと思ったものしか創らない」ということになりますが、企業活動を通じて皆様のところに何かを感じていただければ嬉しいと考えています。



写真：三浦氏と開発中のプログラム

学内ニュース

ご栄転教員紹介

この度、長らく物質工学科教員として、また本校副校長として八戸高専の発展にご尽力いただきおりました大久保恵先生が校長として小山高専にご栄転されました。



八戸高専出身の校長として
小山工業高等専門学校 校長 大久保恵

八戸高専同窓生の皆様、こんにちは。工業化学科の5期生の大久保恵と申します。私は本年3月まで母校八戸高専の教員を勤めておりましたが、国立高専機構理事長より4月1日から小山高専の校長に任ぜられました。着任して3ヶ月経ちますが、この間に多くの行事や現下の、あるいは将来にわたる対応を迫られる事柄が続き、振り返る余裕もないまま進行しています。着任当時は小山高専では高専出身の校長は初めてということもあって心配げな様子もあったようですが、今では学生・保護者・教職員から受け入れていただいているようです。

思えば八戸高専に入学した昭和42年から学生として5年間、昭和54年から教員として35年もお世話になりました。八戸高専在職の後半には様々な難しい課題を任されるようになり自分なりに全力を尽くしました。紆余曲折を経て長年の念願となっていた専攻科の設置に漕ぎ着け（平成14年）、専攻科の

開設によって可能となったJABEE対応プログラムの作成と受審にも関わることができました（平成16年）。また、平成21年度から実施したカリキュラムは、開設単位＝卒業単位で、工学基礎力を重視した柔軟でコンパクトな、かつ全国的に斬新なカリキュラムとなりました。直近では創立50周年記念事業の事業委員長として企画運営を進めました。同窓会の皆様をはじめ関係の多くの皆様のご協力により募金目標を達成できましたことにあらためて御礼申し上げます。本年2月に刊行しました八戸高専創立50年誌は第1期卒業生の方々から平成25年度の在学生まで本科計199クラスや全専攻科のクラス写真も掲載されています。この記念誌には八戸高専50年の歴史が凝縮されておりますので是非ご覧いただきたいと思います。

私がここまで関わることができたのは過去に校長を務められました故穴山武先生、永井伸樹先生、柳沢栄司先生、井口泰孝先生、そして現校長の岡田益男先生の御指導のお蔭であり、教職員の方々や同窓の皆様のご支援、ご協力によるものと深く感謝している次第です。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

愛着のある八戸高専を離れ、今、小山高専を勉強中です。情報化、国際化、少子高齢化、循環型社会への移行など社会が大きく変化している時代にあって、先を読みながらこれからの高専教育と小山高専をどのように描いていくかという難題と向き合いながら日々直面する事柄に追われています。このような時、教育改革が進んでいる八戸高専出身の校長として「誠実にして進取する」をモットーに努力していきたいと決意を新たにしております。

最後になりますが、同じ八戸高専同窓の皆様のご活躍と安寧を願い、同窓会並びに八戸高専の益々のご発展を祈念申し上げます。

定年退職教員のご挨拶

【総合科学科・教授 鳴海寛先生】

～退職のご挨拶～

昭和49年に助手として採用されてから、あっという間に40年が過ぎ、平成25年度を持って無事定年退職となりました。



この間、色々な職務を仰せ付けりましたが、殆どが最長もしくはそれに準ずることばかりでした。今はなき寮監、学級担任16年、学生主事4年。また、2度にわたる教育業績賞の受賞、ディスティングトゥティチャー第1号受賞と歴代の校長先生に教育業績を評価いただいたのも嬉しい出来事でした。また、器械体操（全種目）やトランポリン、グランドホッケーなど高等教育機関である高専ならではの教育プログラムを実践できたのも懐かしい思い出です。部活動では、40年間バスケットに没頭し、この間の男子の決勝進出率7割弱、女子においては9割を達成でき、全国では、優勝こそないものの男女ともに決勝の桜舞台を踏ませ、7回に亘り入賞できました。

若い時は、こんなに楽しいこと、好きなことをして給料までもらっているものかと思っていましたが、60を過ぎてからの体育の授業は、正直過酷でした。高校の先生は、教頭や校長への登竜門があり、晩年は、授業をやらなくていい制度がありますが、高専は定年が63歳であり、「ひら」から校長になることはまずありえません。

声を大にして叫びたい、高専であれ体育教員の定年は60歳でいい！

学生あつての教員です。40年間沢山の思い出をありがとうございました。

【電気情報工学科・教授 土屋幸男先生】

～目に見える使命～

昭和52年に採用され、この春定年退職しました。この母校の卒業生です。で都合42年、人生の3分の2は八戸高専と一体でした。これまでお世話になりました先輩、同輩、後輩の皆様に篤くお礼を申し上げます。



創立当時の面影を残す建物は少なくなりました。キャンパスに点在する植生、例えばユリの木、ポプラ、白樺、アカシアなども壮大な姿になる一方、朽ち倒れもございます。まして人は年々入れ替わっています。

このような中で50年間変わらず残ったモノは何か？これは教育と研究という2つの使命です。昨年度、専攻科修了生は全員、特研を八戸駅前のユートリーに於いて英語でプレゼンし、巢立ちました。使命が目に見える形になりました。

今、私は再雇用で教壇に立っています。研究室はもはやありません。「非連系型再生可能エネルギー利用住宅に付属する電気自動車の運用」の研究を自宅で始めました。生き方が問われる毎日が続いています。

【電気情報工学科・教授 久慈憲夫先生】

本年3月末日で八戸高専電気情報工学科を定年退職致しました。八戸高専で過ごした11年間は、私の人生の中で最も充実した日々でした。多くの出会いがあり、様々な新しい経験をさせていただき



ました。教えるというよりは、教えられることが多い日々だったように思います。創立50周年にも立ち会うことができ、無事定年の日を迎えられたのは、ひとえに八戸高専の学生・教職員・卒業生の皆様の支えがあつてのことと感謝しております。

現在は東京都町田市の旧宅に移り、4月から東京高専電気工学科で嘱託教員として勤務しております。担当している授業は、ディジタル回路と電気電子計測の二科目で、学生の皆さんの若いエネルギーに触れながら、週三日の東京高専での新しい生活を楽しんでおります。高専生には共通の息吹があり、ロケーションは違っても違和感がありません。

八戸を離れることになりましたが、遠くから皆様のご活躍と八戸高専の更なる発展をお祈りしております。

新任教員紹介

【電気情報工学科・教授 熊谷雅美先生】

本年4月1日に電気情報工学科に着任しました、熊谷雅美と申します。3月に30年間お世話になった、日本電信電話株式会社 物性科学基礎研究所を離れ、八戸の地へと参りました。

教育経験は5年間の拓殖大学における非常勤講師の経験しかありませんが、学生の持つ能力を出来る限り引き出せるよう尽くしていきたいと考えています。

NTTでは、主として光物性、光デバイスに関する理論研究を行って参りました。八戸高専では、主軸をデバイスに関する実験にシフトさせて、学生指導に当たるつもりです。

実は、着任以来の10日ほどで、既に数多くの失敗をして、多くの方々にご迷惑をおかけしてしまいました。学生指導以前に自分自身、精進せねばと痛感いたしております。今後いろいろご面倒をおかけするかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



【電気情報工学科・教授 中ノ勇人先生】

電気情報工学科の教員として4月に着任いたしました。学生時代は通信工学を専攻しましたが、卒業後、「物理と情報」の関係を理解したいと、NTTの基礎研究所にて超伝導などの量子電子物性の理論研究に従事して物理の素養を身につけました。こちらへ来る前の10年は量子コンピュータやその素子の研究に勤しみ、本来の軌道に乗ったところでの着任です。

学生とともに「情報」の変わった横顔を見つめることで、新しい目をもった情報技術者を世に送り出す助力をいたしたいと決意しております。



【総合科学科・准教授 中村美道先生】

昨年10月、総合科学科に着任しました。教育面では物理や数学の授業を、研究面では計算科学の立場からナノ材料物質の物性解明・予測を行っています。着任後半年以上経ちます

が、高専内を歩くと今でも時々迷子になることがあります。でも、授業では“迷子”を作らないよう努めてますので、ご安心を（笑）。今年3月の海外語学研修引率（シンガポール）、とても楽しかったです。私の人生の楽しい出来事トップ3（トップ5？）に入るでしょう（笑）。また行きたいなあ。これからも様々な交流を経験していきたいですね。



【機械工学科・助教 白戸先生】

本年4月に機械工学科の助教に着任しました、白田聡と申します。東北大学の博士課程を修了後、月まで宮城県仙台市の東北文化学園大学で教員として勤めておりました。



学生時代から一貫して、ヒューマノイドロボットの設計開発とロボットに利用可能な機構の設計開発を行ってきました。ロボットは様々な研究分野の融合領域ですので、先生方や同窓会員の皆様の多種多様の知識や技術をお借りして、新しい発想や技術を取り入れたロボットの開発、ロボット技術の一般生活への応用も行っていきたいと考えております。

ロボットを作っていく上で必要なものは色々ありますが、その中でも重要なものとして、私は、好奇心、アイデアを形にする力、失敗を成功に変える力だと考えております。まだまだ短い人生経験ではありますが、その中で得られたものを、少しでも学生の指導に生かしたいと思っております。

皆様のご期待にお応えできるよう、務めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

【総合科学科・助教 川端良介先生】

4月1日から総合科学科に着任した、川端良介と申します。昨年度までは青森県スポーツ科学センターにおいて、青森県の高校生を中心としたアスリートの競技力向上を科学的にサポートする仕事を行っていました。そのため、私が担当することになった「スポーツバイオ



メカニクス」ではこれまでの経験を活かして、講義を行いたいと考えています。

また、私は教育経験がなく本校で初めて教員となりました。そのため、生徒に教えるだけではなく、私自身も学生とともに成長できるよう努めていきたいと考えています。

不慣れな点も多く、皆様にご迷惑をかけることも多々あると思いますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

平成25年度の学内ニュース

八戸高専創立50周年記念式典挙行

創立50周年記念式典が11月4日、八戸市公会堂で開かれた。全校生徒や来賓ら約1500人が出席し、青森県内唯一の工業系国立高等教育機関として技術者教育の礎を築いた50年の歴史を讃えた。式典では50周年記念事業の一環でつくられた学生歌「標～未来に向けて～」が披露された。



新作学生歌を披露する学生達

男女バスケットボール部

東北地区高専体育大会でアベック優勝！

男女バスケットボール部が、第50回東北地区高専体育大会で4度目のアベック優勝を果たした。女子は5年連続、男子は3年ぶりの頂点となった。

部員数が決して多くはない中、日々の厳しい練習の成果を発揮し掴み取った勝利である。



優勝カップを手に優勝を讃えあう部員の皆さん

自動車工学部

エコランで2年連続3位入賞！

自動車工学部が10月6日に栃木県のツインリンクもてぎで行われた「Honda エコマイレージチャレンジ 本田宗一郎杯全国大会」で中田匠さんが運転する「NP 号Ⅲ」が2年連続3位入賞を果たした。大会には本校自動車部からは2台が参加し、もう1台は5位に入った。「NP 号Ⅲ」は高専チームの中では昨年に続き1位を記録し、1リットル当たり1731.827キロの燃費であった。



勝利を勝ち取った自動車工学部員の皆さん

電子情報工学部

全国高専プロコン3位入賞！

電子情報工学部が10月13日に北海道旭川市で行われた、オリジナルソフトウェアやシステムの開発技術を競う「第24回全国高専プログラミングコンテスト」の全国大会自由部門で3位に相当する特別賞を受賞した。同部は、雪の降らない地域の子供たちが雪合戦の楽しさを体感できるシュミ

レーションシステムを開発した。武田瑞生さんをリーダーに、7人が約5か月をかけて制作した。創部以来、初めての女子学生によるリーダーでかつ3年生によるチームでの受賞となった。



表彰式のあとの記念の一枚

ロボコン愛好会

東北大会20年ぶりの優勝！

ロボコン愛好会が10月13日に開催されたアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2013（テーマ：「Shall We Jump?」）に参戦し、本校Aチームの「WILD DASH」号が20年ぶりの東北地区優勝を果たした。また、Bチームとして「本州最北豚」号も初戦で敗れたものの健闘した。



東北大会で優勝を果たした「WILD DASH」号の雄姿

シンガポール&テマセクポリテクニクとの国際交流事業

平成26年3月15日から30日にかけて八戸・秋田・富山高専学生総勢37名がシンガポールを訪問し、20名はシンガポールポリテクニクで、また17名はテマセクポリテクニクにて実施され

た技術英語研修に参加した。シンガポールポリテクニクでの英語研修には1年生が参加し、シチュエーションベースの実践的英語実習が行われた。テマセクポリテクニクにて実施された英語研修には2、3年生が参加し、テマセク学生とともにPBL (Problem based learning : 問題解決型学習)を導入したワークショップや分子生物学や電子工学分野の体験学習、プレゼンテーションスキル講習が行われた。

それぞれの研修を通じ参加学生は英語に触れ、英語を使う楽しさを体感するとともに、コミュニケーションツールとしての英語の重要性を理解していた。テマセクポリテクニクとの国際交流事業は平成25年度で3年目をむかえ、今後も継続して行く予定である。



テマセクポリテクニクにて生物実験に取り組む参加学生の皆さん

平成26年度 各種大会日程等

第51回東北地区高等専門学校体育大会

平成26年7月4日(金)～6日(日)にかけて、第51回東北地区高等専門学校体育大会が開催されます(ラグビーフットボールは10月18日～21日に開催)。今年度はA大会は八戸高専が主管校となり八戸市内各施設を中心に開催されるので、市内近郊にお住まいの方は奮って応援をお願い致します。

A大会(八戸高専)

種目	日時	会場
陸上競技	7月5日(土) 9:00 ～	八戸市東運動公園陸上競技場
バスケットボール	7月4日(金) 16:00 ～	八戸市体育館(長根)
卓球	7月4日(金) 16:00 ～	三戸スポーツ文化福祉複合施設
剣道	7月5日(土) 9:00 ～	八戸市立白山台中学校体育館
テニス	7月4日(金) 16:30 ～	[晴天時] 八戸市東運動公園テニスコート [雨天時] 八戸工業高等専門学校体育館
ハンドボール	7月5日(土) 9:00 ～	六戸町総合運動公園体育館
ラグビーフットボール	10月18日(土) 10:30 ～	青森原燃テクノロジーグラウンド

B大会(福島高専)

種目	日時	会場
バレーボール	7月4日(金) 17:00 ～	いわき市立総合体育館大体育館
ソフトテニス	7月5日(土) 8:30 ～	いわき市平テニスコート
柔道	7月5日(土) 9:00 ～	いわき市立総合体育館柔・剣道場
硬式野球	7月4日(金) 17:00 ～	いわきグリーンスタジアム
サッカー	7月5日(土) 9:00 ～	いわき市遠野市民運動場
水泳	7月5日(土) 9:30 ～	いわき市民プール
バドミントン	7月4日(金) 16:00 ～	いわき市南部アリーナ

本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ

2014 年 第 34 回全国大会（エコラン）

9 月 27 日（土）練習走行、9 月 28 日（日）決勝

会場：ツインリンクもてぎ

アイデア対決・全国高等専門学校

ロボットコンテスト 2013（ロボコン）

課題：『出前迅速』

東北大会：10 月 26 日（日）

岩沼市総合体育館（岩沼ビックアリーナ）

（宮城県岩沼市、主管校 仙台高専）

全国大会：11 月 23 日（日）

両国国技館（東京都・墨田区）

全国高等専門学校

第 25 回 プログラミングコンテスト（プロコン）

「とどけよう、イーハトーヴの風～僕らが創る希望郷～」

本選：10 月 18 日（日）～19 日（日）

会場：一関文化センター（主管校 一関高専）

全国高等専門学校

デザインコンペティション 2014in やつしろ （高専デザコン 2014）

メインテーマ：『よりそう』

本選：11 月 8 日（土）～9 日（日）

メイン会場：八代市総合体育館

（主管校 熊本高専）

学科からのメッセージ

機 械 工 学 科

【人事異動】 ご定年を迎えられた後、引き続き特任教授としてお力添えをいただいております浦西和夫先生は、この3月末をもってご退職されました。技術士資格をお持ちの企業経験者として流体力学や設計製図における教育・研究はもちろん、学校運営にもご尽力いただきました。先生のご功績に深く感謝するとともに、今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

浦西先生の後任として、この4月に白田 聡助教が着任いたしました。ヒューマノイドロボットの開発経験を持つロボティクスの専門家であり、学生の教育はもちろん、本校が推進する医療・福祉分野と工学との連携における活躍も期待されます。

木村祐人助教は、4月から内地研究員として東北大学未来科学技術共同研究センターの宮本研究室に出張しており、10月に帰任する予定です。

【進路状況】 この3月に機械工学科を卒業した42名のうち26名が就職、16名が進学しました。進学者のうち12名は本校の専攻科に進学しており、多くが大学院への進学を希望しています。一方、今年度の5年生は46名で、現時点での就職希望26名、進学希望20名(43.5%)と、進学希望者の割合が増加傾向にあります。6月中旬時点で数名が就職活動を継続中であり、進学希望者は受験に向けた勉強に励んでいます。

【終わりに】 間もなく恒例の校内体育大会が開催されます。応援合戦で高い評価を受けた昨年度までの伝統を守ろうと、放課後には5年生が集まって演技の練習に励んでいます。威勢の良い掛け声と和太鼓の音を聞きながら、卒業生の皆様のご健勝とご活躍を祈念しております。

(機械工学科長 武尾文雄)

電 気 情 報 工 学 科

【進路状況】 昨年度は本科卒業生38名中22名が就職、16名が進学でした。専攻科電気系は修了生6名中4名が就職、2名が進学でした。

今年度は、本科卒業予定者46名で、現在、就職希望者23名中20名(87%)が内々定し、約7割の学生が第一志望の会社に合格しました。また、22名が進学希望で、そのうち4名が専攻科に推薦合格し、今年度は就職と進学の割合がほぼ半々で、過去最高の進学希望割合となっております。他、公務員希望1名です。専攻科電気系修了予定者は4名で、3名が進学希望、1名が公務員希望です。

【在学生の様子】 昨年度の電気情報工学科の活躍の様子をお知らせします。3年学習到達度試験において、数学・物理とも全国トップスラスの優秀な成績で、学内トップをずっとキープしております。ロボコン東北地区大会では20年ぶりに優勝し、全国大会に出場しました。コントロール回路の設計・製作等大いに活躍しました。プロコンでは自由部門で特別賞をみごと受賞しました。全国高専テニス大会では卒業した加賀礼美さんが女子ダブルスで準優勝しました。そして、校内体育大会では、5年生をリーダーとして、すばらしい団結力とパワーを発揮しました。連日、応援練習をしっかりとやっている姿が、実に印象的でした。

最近の活躍としては、専攻科2年の小林健太君(釜谷研究室)が計測自動制御学会の学術奨励賞・技術奨励賞を最年少で受賞しました。

【最後に】 卒業生・修了生の皆様には、多方面にわたってご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。こちらにお越しの際はぜひお立ち寄りいただき、近況をお知らせいただけるとありがたいです。楽しみにしております。

(電気情報工学科長 松橋信明)

物質工学科

【進路状況】昨年度の物質工学科卒業生は 42 名（男 22 女 20）で、就職 19 名（男 6 女 13）、進学 23 名（男 16 女 7）でした。専攻科修了生は 12 名（男 12）で、就職 4 名、進学 7 名、公務員志望 1 名でした。専攻科修了生の進学先は東京工業大学大学院 3 名、東北大学大学院 2 名、北海道大学大学院、九州大学大学院にそれぞれ 1 名です。

今年度本科 5 年生は 42 名（男 20 女 22）で、就職希望 21 名（男 11 女 10）、進路希望 21 名（男 9 女 12）です。専攻科 2 年生は 6 名（男 4 女 2）で就職希望 3 名、進学希望 3 名です。

【見学旅行】昨年度の 4 年生の見学旅行は、11 月 5 日（火）～8 日（金）に行われ、J X 日鉱日石エネルギー、J F E スチール東日本製鉄所、日本ゼオン、麒麟横浜ビアビレッジ、大日精化工業の企業に加え、東京工業大学すずかけ台キャンパスも見学させていただきました。それぞれの訪問先では本学卒業の先輩の方々にも説明に加わっていただき、学生にとって充実した見学となりました。有難うございました。

【主催イベント】中学生向けの「化学の学校」は、昨年 11 月 9 日（土）に開催し、中学 1～3 年生 25 名が様々な実験（13 テーマ）を行い、化学の面白さを実感してもらいました。また、中学校理科教員向け『中学校理科実験のスキルアップ講座』を 12 月 24 日（火）に開催し、中学校教員 31 名が様々な実験に参加しました。今年度もそれぞれ 11 月と 12 月に開催予定です。

【最後に】創立 50 周年事業等、様々な面で卒業生の皆様にはご協力いただき有難うございます。これから、物質工学科の学生、教職員へご支援ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

（物質工学科長 松本克才）

建設環境工学科

【進路状況】この 3 月に建設環境工学科を卒業した 42 名の内、24 名が就職、18 名が進学しました。就職の内訳は、4 名が公務員として国土交通省、青森県、八戸市、八戸圏域水道企業団に勤めています。また、JR 各社（北海道、東日本、東海）や電力等のインフラ関連を中心に 20 名が民間企業に勤めております。進学は、8 名が専攻科に、他大学に 10 名が、土木系と建築系そして数学系の学科に進学しました。専攻科生は、大学院 2 名、公務員 1 名（東京都）、民間企業 3 名となっています。

一方、今年度の第 5 学年生は 36 名で、就職希望 20 名、進学希望 16 名となっております。就職 20 名の内、13 名が民間企業（13 名内定）を、7 名が公務員を希望しております。また、6 月中旬から大学等の編入試験が有り、公務員の試験は 9 月に集中しており、学生は準備に励んでいます。

専攻科生は、進学希望 1 名、公務員希望 3 名（1 名内定）、民間企業 1 名内定となっています。

【新入生歓迎会と校内体育大会に向けて】 昨年、新たなスタイルで行われた新 1 年生の歓迎会は、今年 2 年目となりました。新入生に加えて各学年の代表の挨拶が組み込まれ、最後には校内体育大会 Z 科主将より、連覇と応援合戦優勝に向けての決意表明が有りました。放課後を利用して応援合戦の内容練習に熱が入っております。いずれも来年以降も継承される事を期待しています。

【最後に】 再雇用で勤務されていた西村さんが 3 月をもって退職され、1 年間期限付きの青木先生は木更津高専に戻られました。

卒業生の皆様が帰省等で近くにお越しの際には、是非、お気軽に学校にお立ち寄り下さる事を願っております。卒業生&修了生の皆様からの情報を楽しみにしております。

（建設環境工学科長 南将人）

平成 26 年度 事務局短信

★10 年会費（7000 円）納入のお願い

今年度は、平成 6 年 3 月卒業（MEC-27 回生、Z-22 回生）および平成 16 年 3 月卒業（MEC-37 回生、Z-32 回生）の方が 10 年会費納入期にあたります。請求書が同封されておりますので、会費納入をお願いいたします。また、それ以外の同窓生で未納の方も会費納入をお願いいたします。

（注）封筒に添付されている宛名シールに星印がありますが、星印の数が 10 年会費納入までの残りの年数を示しています。従って、星印の無い方が会費を納入する必要があります。

★住所調査葉書

同窓会名簿データ更新のため今年度は全会員から住所調査返信をお願いいたします。住所や職場の変更の有無にかかわらず同封の葉書にて同窓会宛に返送してください。また、同窓会では経費削減のため会報発行、事務連絡を電子メールで実施することを検討しています。この機会に E-mail アドレスの記入をお願いいたします。

なお、同窓会名簿で非公開としたい情報は、はがきのチェック欄にレ印を記入ください。ただし、同窓会の会員データとして情報が必要です。住所等は必ず記載してください。

平成 25 年度 事業報告

★平成 25 年度の事業報告

平成 25 年度は以下の事業を行いました。

年度	月	項 目
25	4/8	事務局打ち合わせ会議開催（八戸）
	5/9	正副会長、事務局打ち合わせ会議開催（八戸）
	5/18	評議会開催（八戸）
	6/末	会報第 39 号 WEB 発行および住所調査実施 （住所調査は 50 周年記念式典のパンフレット印刷完了を待って 8/6 に実施）
	11/4	八戸工業高等専門学校創立 50 周年記念式典
	11/23	理事会（八戸）
	11	学校関係者との懇談会 （50 周年記念事業の枠組みの中で、学校関係者と密接に連絡を取っており 特別の協議題がないため中止）
	11	名簿発行
	3/19	新入会員（第 47 期生）入会式実施

★会員名簿（平成 25 年度版）の注文方法のお知らせ

名簿は平成 25 年 11 月に作成しました。昨年度の名簿の購入を希望される方は、同封の住所調査葉書に名簿注文欄がありますので、○印を付けて返送してください。値段は実費（送料込 1,500 円）です。名簿到着後、名簿に同封されている振込用紙にてご送金ください。送金をお忘れにならないようご注意ください。

★同窓会会報等の送付先について

同窓会からの会報などの送付先を、勤務先にしたい方は住所調査葉書に記載欄を設けておりますのでご利用ください。

★クラス会活動補助金について

同窓会では、クラス会活動の活性化を目的に「クラス会活動補助金」が予算化されております。1クラスあたり 10,000 円で、先着 10 クラスまでとし、連絡先を明記したクラス名簿およびクラス会報告（写真などを含む）が義務付けられます。

★その他

同窓会は個人情報保護法の規制団体ではありませんが、連絡いただいた情報の管理は厳格に行っております。また、住所等の情報について特別な事情がある場合には同窓会事務局まで連絡してください。

平成 26 年度総会のお知らせ

今年度は、以下の日程で、名古屋市で総会を開催します。ふるってご参加ください。

日時：9 月 20 日(土) 13：00～16：00（総会ならびに懇親会）

なお、理事会は 12:00～13:00 に開催し、懇親会は 14:00 過ぎから予定しております。

場所：東天紅 名古屋支店

懇親会の会費 6,000 円

なお、ご夫婦での参加の場合は 2 人で 9,000 円、新会員の方は 3,000 円です。

〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野 1-47-1 名古屋国際センタービル 25 階

☎052-562-1015